

# 地 域 お こ し 協 力 隊 活 動 報 告

2026年3月公開用

発表者：阪井元子

2023年5月1日（月）姫路市の地域おこし協力隊になりました

1967年大阪府豊中市に生まれ、  
兵庫県西宮市で育ち、結婚し  
てからは神戸市で過ごす。

COLORS  
MOTOKO  
COLOR ANALYSIS KOBE



経歴はアパレル商品開発、編集プロダクション制作勤務、広告  
営業、接客業等。直近の仕事はパーソナルカラーアナリスト。

コロナ禍をきっかけに人生の最終盤の生き方を考え、地方移住の可能性を探り、タイミングよく募集  
のあった姫路市の地域おこし協力隊に応募。現在は、平日は地域おこし協力隊として坊勢島で勤務、  
週末は夫の住む神戸市で過ごす二拠点生活を実施。

# 姫路市の地域おこし協力隊はフリーミッション

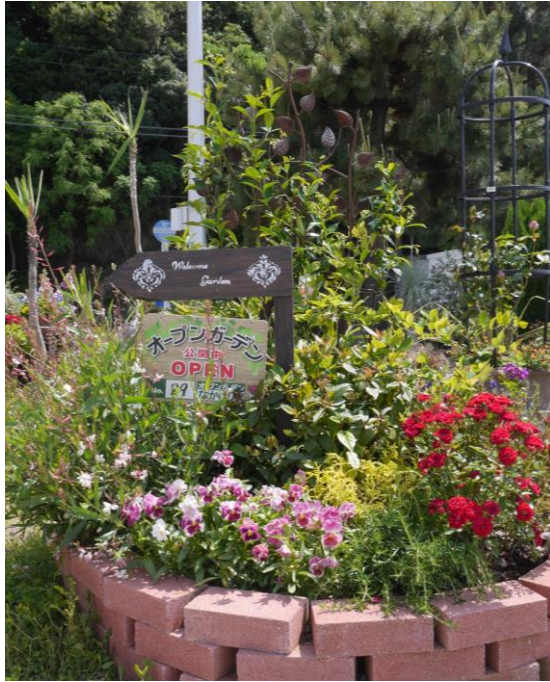
## 1年目（2023年度）「島での暮らし・活動を知る」



請われるがままに「なんでもやります！」

島内リサーチ・島内清掃・SNS更新・坊勢島マップの増刷・地域イベント手伝い・地域行事手伝い取材・空き家対策手伝い・広報課取材協力・家島坊勢島案内・来島対応・研修受講・アイランダー参加・家島での地域猫活動手伝い・坊勢島での地域猫活動協力参加等々

## 2年目（2024年度）「島での活動の種をまく」



地域の方と協力して取り組むイベント・行事：なかはりまオープンガーデン、家島フォトクエスト、ペーロンフェスタ2024、アイランダーオンラインステージ等

地域の方と協力して行う課題解決への取り組み：地域猫活動、空き家対策、空き地の有効利用

地域おこし協力隊退任後を見据えた活動：研修受講

地域からの要望があり、公としてふさわしい内容であれば、自分の興味に沿って活動できる！

## 地域の方と協力して取り組むイベントの事例【ペーロンフェスタの学生ボランティア募集】



### <問題点>

年々苛酷になる気象状況や人員不足、開催のルーティーン化等でモチベーション低下

### <解決策>

学生ボランティアの導入

2024年度10名、2025年度12名ボランティア参加

### <効果>

学生ボランティアのはつらつとした仕事ぶりに運営側から好評を得る

初年度参加のボランティアスタッフが今年度も引き続き参加

昨年ボランティアで参加された方が今年はチームを組んで競技参加

## 地域住民と行う課題解決への取り組み事例【空き家の利活用】

### <現状と課題>

NPOが立ち上がり、一定の成果を上げている坊勢島の空き家対策。

今後、いかに若い世代にアピールしていくか？

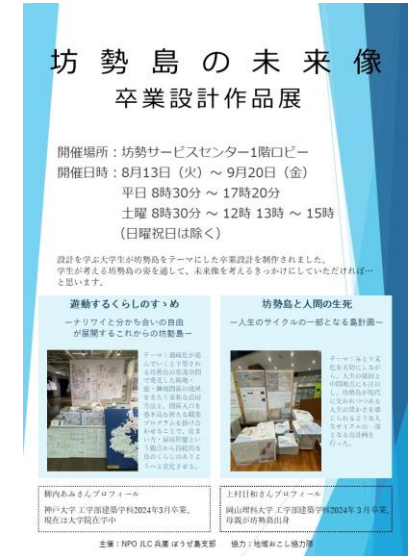
### <対策>

【坊勢島の未来像 -卒業設計展-】 坊勢島をテーマに建築科の大学生が制作した卒業設計を作品展として坊勢サービスセンターで展示。

大学生から見た「坊勢島の未来像」を広く知っていただくことが狙い。

神戸大学院生柳内あみさん作成の卒業設計より、坊勢島の問題点として、島内在住の女性が就労等の、活躍の場が少ないことをあげられていた。

空き家を利活用した「シェアカフェ」=誰もがチャレンジでき、島の人も来島者も利用し、交流できる場所を提言。



## 地域住民と協力して行う課題解決の取り組み事例【地域猫活動】



### <実績>

個体数の増加やそれに伴う擁護派・反対派の対立問題にも発展しかねない野良猫を、一斉捕獲～避妊去勢手術した猫を元の場所に戻すTNR活動を含めた地域猫活動を、島民の合意のもと坊勢区会主体で実施。

さらに、地域猫の見守りや保護猫活動などを行うボランティア団体を、地域の協力者とともに立ち上げる。

### <効果>

住民の理解促進や協力者の増加など、課題解決に向けた大きな進展があった。

		TNR	保護
2023年	12月8日9日10日	19匹	2匹
2024年	4月22日23日	6匹	
	6月4日～7日	44匹	11匹
	6月19日		1匹
	7月12日	4匹	
	8月11日		1匹
	8月27日	2匹	2匹
	9月10日	3匹	
	9月28日	1匹	1匹
	10月21日22日	24匹	1匹
	11月11日		2匹
	12月13日		2匹
	12月20日		2匹
2025年	1月24日		2匹
	6月18日19日	2匹	
	12月11日	2匹	2匹
	12月23日		2匹
	合計	107匹	31匹

TNR：捕獲し手術したのち、元の場所に戻す 保護：捕獲したのち、飼い主を探す

### 3年目（2025年度）「島での活動を育てる」

これまでの実績をもとにして、より広く家島の魅力を発信していきます。また、協力隊終了後の次のステップに向けた準備もあわせて進めていきます。

卒隊後の目標「坊勢島に住み続ける」ために、なりわいづくりと拠点づくりを模索



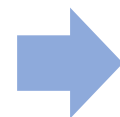
【坊勢島の未来像 -卒業設計展-】 から着想を得た「シェアカフェ・シェアキッチン」を坊勢島に作るプランで、姫路観光コンベンションビューローへ観光支援助成金の相談



観光コンベンションビューローから、坊勢島の観光に対して前向きな回答を得る。

## 坊勢島になぜ観光が必要なのか？

人口減少は日本全国的な問題である。  
このまま人口減少が進むと、坊勢島の  
定期船の利用者が減り、旅客運賃もど  
んどん値上がりするのではないかと？



島民の利用だけでなく、定期船の利用者  
をもっともっと増やしたい！  
坊勢島にも「観光」で訪れてほしい！

## 観光は「地域資源をいかす」がトレンド！

何か新しいものを取ってつけるのではなく、今ある資源を見つける！いかす！

## 坊勢島の「地域資源」は何か？

- ヨソ者には魅力的に見えるが、  
地域の人には当たり前すぎて気づかない
- 現地に行かないと味わうことのできないもの
- 非日常が味わえるもの



- 海に囲まれた立地**こそが最大の魅力
- シャイだけど、困っている人がいたら  
放っておけない「**人のよさ**」

# 令和7年度姫路市観光産業育成事業補助金を観光コンベンションビューローに申請

## 申請プラン内容

### 「アートと島猫の観光資源化」で進める坊勢島の魅力創出と観光活性化

2023年に姫路市の地域おこし協力隊になって坊勢島に住み、任務にあたって、坊勢島は今現在でも十分魅力的であり、移住者である自分が今後も住み続けるためにできることを真剣に考えた結果、観光業の可能性に掛けたいという気持ちになった。

が、いかんせん知名度が低い！坊勢島だけの問題ではなく、家島諸島全体として知名度アップの施策が必要。

### 観光の目玉となる「人を呼べる映え（ばえ）の創出」

### 世界的有名アーティストによる完全オリジナル作品による観光活性化

## 話題性・認知拡大・瀬戸内周遊・インバウンド

夕陽を臨める、海を見下ろす物件にアート作品を設置、家島諸島にふさわしい、海の航海の安全を祈念する像（スタチュー）の制作を計画。



練りに練った企画で勝負するも

残念ながら不採択

## 2025年11月 坊勢漁港ふれあいプラザ内地域産品等販売施設利用の公募



2025年夏、当時の利用者の方から8月末で閉店されるという情報を得た。

坊勢漁港ふれあいプラザは坊勢ターミナル港の玄関口で、坊勢島に来られた方は必ず訪れる場所である。好立地なので、次の利用者を目指して、計画を練る。

家島港ふれあいプラザで家島観光事業組合が展開しているような、特産品の販売と観光案内所機能を持たせ、店内に人がいなくても売り上げが立つように自動販売機での土産物販売の導入を検討するも、事業計画段階で黒字化のメドが立てられず。

島民の皆様から期待の声を寄せられるも

応募断念

完全に手詰まり状態…

今までのことを改めて考え直し、家島諸島・坊勢島に残って何がしたいかと考えたときに、真っ先に思い浮かんだのは「地域猫活動の継続」！

地域猫活動の拠点、地域猫の保護や世話ができる物件に絞って探し、周囲の理解や環境を考慮して選定、持ち主の方に相談して古民家の入手に至る。

紆余曲折あったものの

ついに…活動拠点決定！



## 古民家でしたいこと①地域猫活動の拠点をつくる

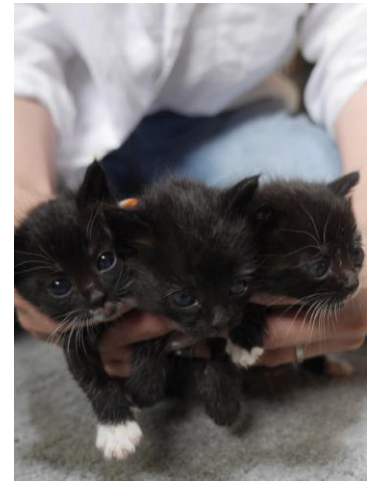
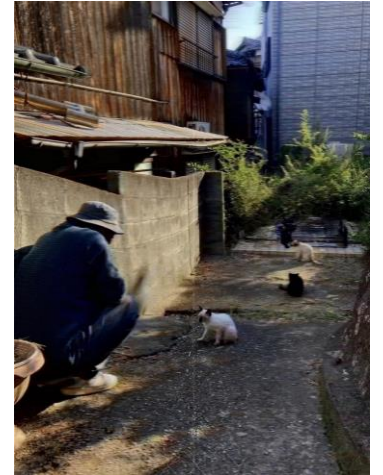
### <現状と課題>

現在もボランティアの方と協力し、TNR(捕獲・不妊手術・元の場所に戻す)した猫の見守り活動(エサやり・プランタートイレの設置)等を通じて、頭数管理を行っている。見守り猫の中には人馴れし飼い猫になりそうな猫が数匹いるとの報告がある。現在、保護猫の預かりボランティアは人数が限られており、初期医療の結果いかんでは引き取れず、元の場所に戻すしかない場合もある。

### <今後の目標>

保護猫の世話をする場所を確保し、里親(飼い主)を探す体制を整えることで、現実的に野良猫(飼い主がない猫)の数を減らすことができる。ボランティアの方たちの情報共有の場、地域猫の保護施設として、コミュニティカフェを作る。

保護猫と触れ合えるカフェ⇒地域猫の観光資源化を目指す。



## 地域猫の観光資源化で家島諸島・坊勢島への興味拡大を狙う！



全国的に「しまねこ」の  
人気は高い。  
瀬戸内海にも香川県を中心  
にいくつか人気のス  
ポットがある。  
家島諸島は関西圏からの  
アクセスがよく、関西圏  
の猫好きに根こそぎア  
ピールできる。  
シーズンに関係なく、集  
客が見込めるコンテンツ  
である。

## 古民家でしたいこと②古民家改修と情報発信

### <実績>

#### 【空き家活用研修の実施】

第一回「空き家改修のチェックポイント」

第二回「改修計画」を実施。

島内で空き家対策に取り組むNPO JLC

兵庫ぼうぜ支部とともに学ぶ。

### <今後の目標>

坊勢島での拠点となる古民家の改修状況

をリアルに発信する。



空き家の利活用は、若い世代に注目度の高いコンテンツである。

坊勢島で空き家活用実績を作り、情報発信することで、注目度を高めたい！

## 古民家でしたいこと③産直野菜と果物マルシェ



### <実績>

現在までに兵庫県地域おこし協力隊ネットワーク研修で知り合った佐用町の地域おこし協力隊の方に協力していただき、佐用町産直マルシェを開催。坊勢島の方たちの新鮮野菜・果物に対する需要の高さを知った。

### <今後の目標>

姫路市の職員として、姫路産の野菜果物をもっと身近に感じてほしい！本土と同程度の価格で提供したい！との思いから、姫路の生産者から直接仕入れて販売する方法を模索中である。

## 古民家でしたいこと④チル旅ニーズに対応するコミュニティカフェ

### <現状と課題>

近年、坊勢島でも観光客が増えつつある。いわゆる観光地に出向くのではなく、目的を持たずゆったり過ごす【チル旅】ニーズに家島諸島は最適だと感じる。

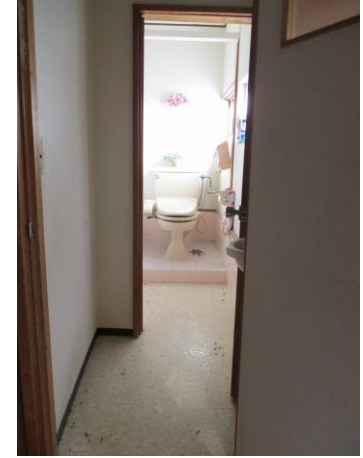
島歩きに疲れた時にちょっとした休憩場所をつくる必要がある。また、島民と来島者がコミュニケーションをとれるような場所の提供も必要だと感じる。

### <今後の目標>

地域猫活動の拠点にカフェ機能を持たせ、「保護猫と触れ合えるコミュニティカフェ」とする。島内の方も来島者も利用でき、交流できることを目指し、「シェアキッチン・シェアカフェ」とする。



# まずは古民家の改修！



機能回復、使えるようにする！

「坊勢島に住み続ける」ための、新たなスタート！



たくさんの「大好き」を知ってほしい。ぜひ家島諸島・坊勢島にお越しください。

姫路市民としてたくさんの経験をさせていただき、ありがとうございました！



姫路市 家島諸島 坊勢島から「大好き」を発信していきます！今後ともよろしくお願ひします。